

9月7・8日開催

▼各常任委員会での質疑の主な内容は次の通りです。

総務 経済 常任委員会

◎総務課所管

Q 防災士の取得が必要だと思うが。

A 消防団からの推薦、また、分団長以上の階級は費用を掛けず取得できる。今年は個人ではあるが、職員1名が取得している。

Q 西山1で昔使用していたポンプ小屋がそのまま残っている。所有はどこか。また、取り壊しなどはどうすればよいのか。

A 昔の建物は基本的に地元（行政区）で建てている。しかし、消防施設の管理は取り壊しも含めて行政で行うべきものと考えている。今後どのようにしてい

くか行政区長を通して要望してほしい。

◎企画商工課所管

Q 地方バス路線の補助について、沿線自治体で協力していると思うが、該当する自治体はどこなのか。

A 郡山市、石川町、小野町、玉川村。

※平田村は赤字補填補助金として令和4年度は約3,600万円支出している。

Q 道の駅駐車場の拡張が必要ではないか。

A 今年度、地権者と協議する予定。（要望）

▼離れた場所に駐車場を求めても良いのではないか。建設前には蛭の里や動物とのふれあいの場の計画もあったと記憶している。ドッグランのような施設と併設すれば離れていても駐車場として機能すると思う。

Q 平田校跡地は分譲か貸付か。15年住んだら譲渡するぐらいのインパクトのある事業が欲しい。

A 分譲か貸付かは協議したい。いずれにしても残地が使いやすいよう計画的に配置したい。まずは全体に公募して反応をみたい。



開発が待たれる平田校跡地

分譲か貸付かは協議したい。いずれにしても残地が使いやすいよう計画的に配置したい。まずは全体に公募して反応をみたい。

◎住民課所管

Q マイナンバーカードの問題が取り沙汰されているが、6月議会の時点では問題や返納がなかったが、その後はどうか。

A 1名返納された。また、トラブルはなく、現在、国で総点検を行っているが、本村では紐づけ誤りなどの対象事案もなかった。

Q プラスチック資源循環促進の実証試験について、石川管内5町村で協議するとあるが、

検証し意見を集約する場に住民はメンバーに入らないのか。

A 住民は入らず、施設組合の担当者、管内の担当課長及び担当者で行う。5町村の状況（量や出されたもの）を確認し、今後協議・検討し、年内を目途に方向性を出す。最終的には正副管理者会議で決定し、組合議会の中で承認を得て、来年4月から実施することになる。

Q 現在、あぶくま高原道路が通行止めになっている関係で、県道矢吹・小野線の交通量が増えている。県に連絡し、雑草木の刈払いをお願いし、道路標識も見える状況にしてほしい。事故が無いようにお願いしたい。

A 関係部署に連絡のうえ、早急に対応する。

◎健康福祉課所管

Q 緊急通報システムのペンダント型の通信機は外出中も使用できるのか。

A ペンダント型の通信機は、あくまで自宅に

ある本体との電波のやりとりになっているので、外出時の使用はできない。



ペンダント型通信機

ある本体との電波のやりとりになっているので、外出時の使用はできない。

Q 重度心身障がい者の医療費助成については、現在償還払いとしているが、村では今後現物給付を行う予定はあるか。

A 他の自治体での取り組み状況について把握し、本村においても実施するかどうかを検討していく。

Q 不妊治療に関して、県の補助金はあるが、村ではまだそこまで確立していないという話だった。その後の状況は。

A 今年度村としても予算化し、現在詳細について整備中。早い対応をしたいと考えている。

◎産業建設課所管

Q 青果物価格補償事業とは何か。

A 青果物の著しい価格の低落により再生産が阻害されることがない補償金等を交付する事業。今回の対象作物はリンドウとなす。

Q 白アリ防除委託料160万円で住宅を駆除できるのか。

A 対象住宅が2棟あり、1棟あたり80万円で考えている。

Q 橋本ニュータウンの車道部分に車を停車している人が多くみられ通行に支障をきたしているが、対応策はないのか。

※県補助金

① 保険適用外となる治療 上限30万円

② 保険診療の治療と併用して実施した先進医療 上限10万円

③ 治療の回数上限等を超えて保険適用外になる治療 上限10万円

④ 不妊症検査 上限3万円

と思うが状況を確認する。

◎教育課所管

Q パークゴルフ場の芝について、涼しくなれば芝は整うと言ったが、今後復調するとは思えない。今年度中のオーブンはどう考えても無理ではないか。

A 8月に業者の散水車や、軽トラを使用してシルバー人材センターに委託し、散水してもらい、芝に青みが出てきた。全て駄目になった訳ではない。管理業務の中で春と秋の種まきを実施しており、今秋も行う。

Q 8月までに散水は実施しなかったのか。

A 7月の時点では青くなっていた。8月に入り、遮るものが無い真ん中の部分については特に症状が顕著だった。

Q 公民館館内のWiFi設置330万の費用は妥当なのか。

A 全館に配置されている中継器と配線、工事費用を合計すると相応の金額になる。

総務経済常任委員会【報告】

◎現地視察について

村道真弓千保線道路改良舗装工事（中倉字川面地内）など村内3か所を現地視察しました。次の点について要請します。

▼工事に係る監督業務、竣功検査については万全の体制で実施するとともに、工期の遵守を図ること。

▼毎年、台風や大雨といった自然災害による被害が多く発生し、一年の中でも災害が起こりやすい時期になる。地域コミュニティにより災害から避難できるような体制づくりを早期に構築すること。

▼監査委員の決算審査意見書での要請事項等については、十分に検討・対処され、改善を図ること。



村道真弓千保線道路改良工事（中倉字川面地内）

文教厚生
常任委員会

◎総務課所管

Q 令和4年度決算の經常経費はいくらになるのか。

A 30億4千78万3千円。※經常経費とは

人件費や扶助費、光熱水費などの物件費等毎年度連続して固定的に支出される経費のこと。

Q 防災マップ改訂で、水没の危険性がある道路が記されていない所があるのか。現地を確認し、今後の改定に上げるようにしてもらいたい。

A 今回の改定では、土砂災害警戒区域についての見直しを行った。次回の改定時には水没危険区域も反映するようにしたい。

Q 高校生通学支援は、バスや電車通学以外の全生徒が対象となるのか。

A 寮や下宿等を含む全生徒が対象。

◎企画商工課所管

Q 広報誌について、一般の方、特に若い方の意見を聞けるようなしくみを作れないか。

A 公式LINE等で対応している自治体を参考にしたい。簡単な問い合わせについてもAIが自動で回答できる機能もあるので今後検討していきたい。

Q 令和4年度公社の人員費はいくらか。

A 4,526万4千円。

Q 公社の職員には若い方の採用も必要なのではないか。また、あじさいまつり以降のジュピアランドの活用について何か考えているのか。

A 公社の職員は50〜70歳の方が主で、バランスよい配置が必要だと考える。また、ジュピアランドの活用として9月の日曜日にゴーカートの試験的な運用を始める。

Q 空き校舎の活用について、耐震性はどのくらいか。

A 蓬田中は校舎の75%が不適、小平中は25%

が不適、西山小は校舎全部が適合。

◎税務課所管

Q 固定資産税の納付書について、令和6年度から全期前納の報奨金がなくなるが、コンビニで全期前納の納付書は使えるようになるのか。

A 基本的には、利用できるものの利用限度額として設定されている30万円以上のものは利用できない。

◎住民課所管

Q コンビニで各種証明書が発行できるようにするのはいつ頃か。

A 開始時期は未定。関係各課で検討もしてきた。現在、マイナンバーカードの普及により、各種申請においての住民票が省略できる等の状況もあり、費用対効果を検証しながら検討していく。

Q マイナンバーカードを使って手続きができるという状況になりつつあるということではないか。



- A** 住所変更されたカードであれば、運転免許証の住所変更時に住民票添付が不要。パスポートの場合、有効期限内であればパスポート更新時の戸籍添付が不要。
- 今後、住民票等の交付申請は減少すると想定されている。費用対効果を考えて検討する。ただし、本村だけコンビ二で取れないという状況になってしまっている困るので、今後検討する。
- Q** 今年度の出生人数は何人か。
- A** 令和5年4月から8月末まで10人。今後の予想合計は24人。なお、令和3年度は28人、令和4年度は16人。

◎健康福祉課所管

- Q** 人間ドック受診者が少ないように思われるがその要因はなにか。
- A** 長年実施しているが、例年受診率は3割程度で推移している。自己負担額も2万円から2万5千円程かかるため、そういった自己負担分による影響も考えられる。また、集団検診の受診率も5割程度であるため、検診に対する意識の差であるとも考えられる。
- Q** 村では高齢者向けのパークゴルフ場整備も進めているが、使用するクラブ等の道具も高額であるため、こちらに対する助成も検討してみているか。
- A** 今後、老人クラブなどの意見を聞いたうえで、そういった要望がある場合には検討したい。
- Q** 昨年実施したひらた健康アップ事業（ライザップ事業）は今年も実施しないのか。
- A** 当事業は、国保事業における県補助金を活用した事業で、本年度



ひらた健康アップ事業

はまた別の民間業者（株）ルネサンスへ委託で計画している。

- ◎教育課所管**
- Q** これまでにパークゴルフ場の整備で4、400万程度の経費が掛かっている。何度か見に行っているが、今後決められた予算で芝の育成が出来るか疑問である。
- A** あまりにも雨が降らず、8月終盤に業者やシルバー人材センターに委託し、散水作業を実施した。今後は秋の追播を行い管理していく。
- Q** 給食センターについて、施設そのものが老朽化していると感じるが、今後はどのように考えているか。

- A** 設計の規格も古く、これまでも保健所等からの指導があったが、建築時の設計に由来するものは対応が難しい。なお、小学校統合の話が今後出た際は、学校建築と併せた給食センター移設による運営経費や労力削減などのメリットはあると思う。
- Q** スマホ教室を3月議会の際に提案し、本年度実施されるようだ。習熟度別に段階的に実施して欲しい旨を伝えたいが、状況は。
- A** 詳細は未定。習熟度は個々の認識で違うため、段階別に開催というのは難しいと思う。個別に講師へ聞いて頂いた方が早いこともある。（要望）
- ▼実施については広く周知して欲しい。内容については、難易度別に曜日を分けるなどすれば良いのでは。
- Q** 他県で学校給食などの調達業務で業者が突然手を引いたところがあるが、本村は大丈夫か。

- A** 現時点では問題ない。委託しているのは調理のみであり、栄養管理や食材の調達はそれぞれ県職の栄養士、村職員が行っている。



- Q** スクールバスの件について、今後20人を下回る学年も出てくるようだ。人数によってはバスの大きさの変更も

- A** あるか。
- A** スクールバスが交付税に該当するには、マイクロスバス以上の大きさである要件があり、車両の大きさを変更すると村の持出しが増える可能性がある。現在のシステムであるうちは現状維持が良いと考える。交付税のルールを押さえながら有効に活用できるようにしたい。

- Q** 村でバスを有して運行するなど将来的に考えた方が良いか。
- A** 交付税での補填等を考えながら検討したい。

文教厚生常任委員会【報告】

- 次の点について要請します。
- ▼現在、福島県内で新型コロナウイルスに感染して入院している人は、7週連続で増加し続け、1か月前の約2.1倍となり、県内の定点医療機関で確認された新型コロナウイルス感染者も10週連続で増加している。村は手指の消毒や場面に応じたマスクの着用といった基本的な感染対策や、発熱、のどの痛みがある場合には、出勤や登校を控えて自主的に検査を行うなど、感染拡大を防ぐ行動をとるなどの注意喚起すること。
- ▼監査委員の決算審査意見書での要請事項等については、十分に検討・対処され、改善を図ること。